

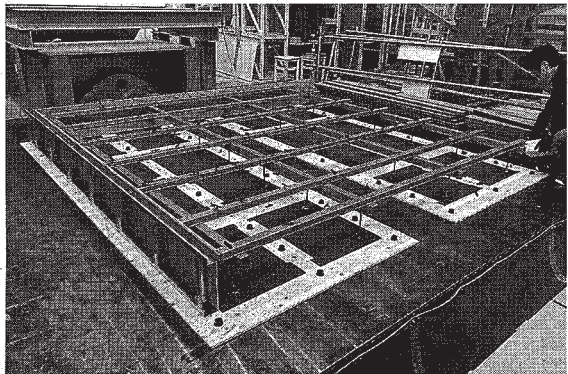
耐震試験でも破損なし

公共・商業施設を想定

ケーワンシステム

北海道を中心に二重床を供給・施工し、万が一や転倒衝突時の硬さ試験を行い、安全性を証明。国産材も活用できるため、文教施設で採用が増えている。車両乗り入れを可能にした「文教Playタイプ」も販売している。

加振した。な赤さびの発生が認められただけで、施工現場状況に近付けた試験体で長期に設置した場合同社では、雨天的の屋上など様々な場面での長期利用での利用が増えている。天然木条件を想定し、性能を証明することで利用幅を広げていきたい」と話す。



北海道立総合研究機構での耐震試験

主力商品は「K-1デッキ文教タイプ」。同社は2020年12月、北海道立総合研究機構建築研究本部で、K-1デッキ耐震試験（人工木材デッキ材）から、同試験に取り組んだ。試験では、支持脚の間隔を450mmとした体で、500時間、21話す。試験体と900mmとした日間の塩水噴霧試験を行って、人工木仕に関する性能試験も行った試験体で、目標加速600ガル及び980ガル様では目視確認の結ぶの正弦波で1回ずつ果、白さび及びわずかな赤さびの発生が認められただけで、施工現場状況に近付けた試験体で長期に設置した場合同社では、雨天的の屋上など様々な場面での長期利用での利用が増えている。天然木条件を想定し、性能を証明することで利用幅を広げていきたい」と話す。